

令和2年度福島県がん教育実践事業
がん教育研究推進校

福島県立会津学鳳中学校・高等学校

研究発表

「中学校と高等学校の連携を
もつに行うがん教育の実践」



福島県立会津学鳳中学校
研修主任 山田雄一

AIZU GAKUHO



研究概要

研究テーマ 中学校と高等学校の連携を
もつに行うがん教育の推進

昨年度の成果と課題

成果

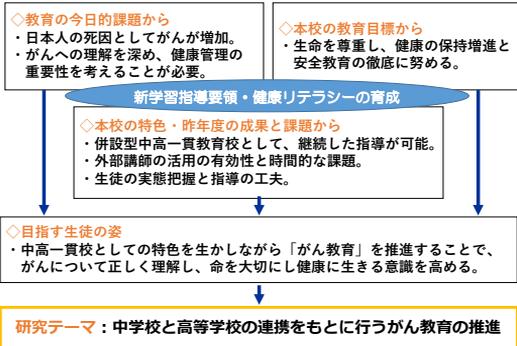
- 健康教育全体計画を見直し、がん教育を取り入れたものに改善できた。
- 校内組織の設置→学校全体として、授業等の検討・実施ができた。
- 生徒の学習の機会、教員の研修として外部講師の活用が有効であった。

昨年度の成果と課題

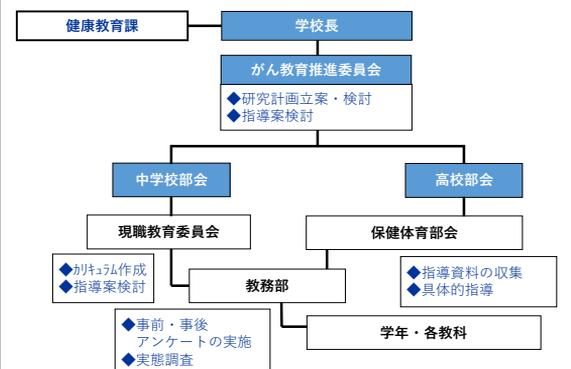
課題

- 外部講師の活用に関して、事前の打ち合わせなど時間の確保が難しい。
- がんに特化した単元が教科書にない。
→ 各校でがん教育のカリキュラム編成が必要。
- 生徒の家庭環境や心情面の配慮が必須。
→ 実態把握による個別指導と全体指導の使い分けが必要。

テーマ設定の理由



研究組織



がん教育カリキュラム

がん教育年間カリキュラム											
高校1学年 がん教育の推進						金神学園(12年4月作成)					
月	実施内容	担当	実施場所	実施時間	実施日	実施内容	担当	実施場所	実施時間	実施日	実施内容
9月	授業内容 ●生命の由来 ●生命の発生 ●生命の進化 ●生命の多様性 ●生命の絶滅 ●生命の保存 ●生命の再生	生物 理科	教室	10分	9月10日	生命の由来 生命の発生 生命の進化 生命の多様性 生命の絶滅 生命の保存 生命の再生	生物 理科	教室	10分	9月10日	生命の由来 生命の発生 生命の進化 生命の多様性 生命の絶滅 生命の保存 生命の再生
10月	「私たちの健康 を守るために 健康の心と 力」	保健・生活科 理科	教室	10分	10月10日	「私たちの健康 を守るために 健康の心と 力」	保健・生活科 理科	教室	10分	10月10日	「私たちの健康 を守るために 健康の心と 力」
11月	「現代社会 の科学的発展 と健康」	理科	教室	10分	11月10日	「現代社会 の科学的発展 と健康」	理科	教室	10分	11月10日	「現代社会 の科学的発展 と健康」
12月	「がんの予防 と早期発見」	保健・生活科 理科	教室	10分	12月10日	「がんの予防 と早期発見」	保健・生活科 理科	教室	10分	12月10日	「がんの予防 と早期発見」

年間計画 (抜粋)

対象	対象	対象
6月18日	テーマ・計画の立案と検討	がん教育推進委員会
9月2日	実施方法の細案について検討	がん教育推進委員会
9月	事前アンケート・意識調査	中学校3年生 高等学校1年生
10月14日	校内研修	教職員
10月15日 19日	事前研究会・指導案検討会	がん教育推進委員会 授業担当者
10月23日	がん教育講演会(高)	中学校3年生
11月2日	〃(中)	高等学校1年生
11月16日	研究授業・事後研究会	中学校3年生 高等学校1年生
12月	事後アンケート・事後研究会議	がん教育推進委員会

AIZU GAKUHO 研究内容

研究テーマ **中学校と高等学校の連携をもとに行うがん教育の推進**

校内研修



筑波大学名誉教授
野津 有司 様

校内研修

がんを防ぐための12か条
新旧比較。
1978年と2011年での違いに
気付くのも学習。

効果的な導入についても
アドバイスをいただいた。

がん教育講演会



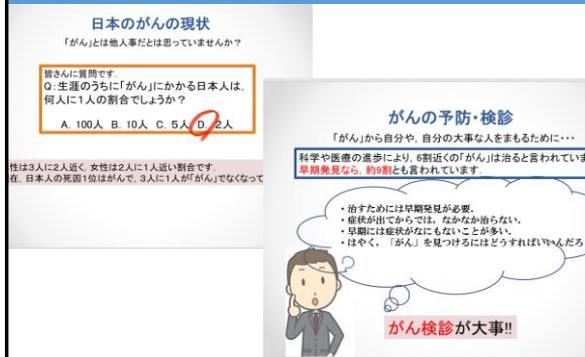
がん教育講演会



講演会後の中学生の感想

・今日の講演で、がんについて新しい知識を得ることができました。がんになる一番の原因がたばこであることを知り、家族に喫煙者がいるので、気をつけて欲しいと思いました。先日、近親者にがんにかかった人がいたので、とても強い関心を持って講演を聞きました。手術前や手術後は、患者自身はもちろん、周囲の私達も不安になりました。治療にあたっては、身体の痛みだけでなく心の痛みも和らげてあげられるようなサポートが必要だと、強く感じました。今後は、誰でもがんになる可能性があることを重く受け止め、家族全員で日頃の生活習慣を見直していきたいと思います。(A組女子)

がん教育講演会



がん教育講演会



がん教育研究授業

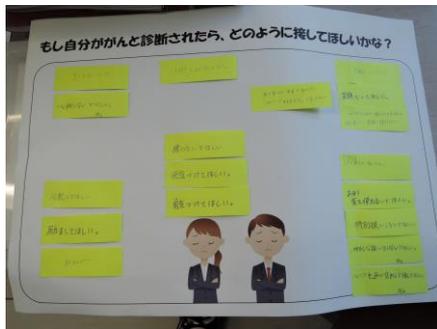


がん教育研究授業 (中学校)



がんピアネットふくしま
江川博幸 様

がん教育研究授業（中学校）



がん教育研究授業（中学校）



がん教育研究授業（中学校）

- ・がんになると、何よりつらいのは患者本人だということ、**周りの人の言動で実際に支えることができることを深く感じた。**
- ・**どう接することが一番励みになるかは、人によってそれぞれだ**ということを知ることができた。がんや病気などで闘病している人たちを励ませる人になりたい。
- ・がんというのは、**一人でたたかう病気ではなく、みんなで戦う病気だと思いました。**
- ・がんで辛い思いをしないように、**身近な家族にしっかり検診を勧めたい。**

がん教育研究授業（高校）



がん教育研究授業（高校）



がん教育研究授業（高校）



がん教育研究授業（高校）

- ・ 早期発見をすることで、少しでも治りやすくなることなど、**これからの生活に大切なことを学ぶことができた。**
- ・ がんは誰でもかかる病気なので安心できないから、普段の**生活習慣を気にかけて**気を付けて生活していきたい。
- ・ がん検診を受けられる年齢になったら**定期的に検診していきたい**と考えています。

がん教育研究授業（高校）

- ・ 検診や、たばこやお酒はなるべく控えて適度な運動をするように、**家族や身近な人に呼びかけようと思った。**
- ・ 今回がんのことをもっと詳しく知ることができたので、**家族とも健康な生活について話してみようと思います。**
- ・ **家族にがんの治療をしている人がいる**ので、励ましあいながら家族全員で頑張っていこうと思った。

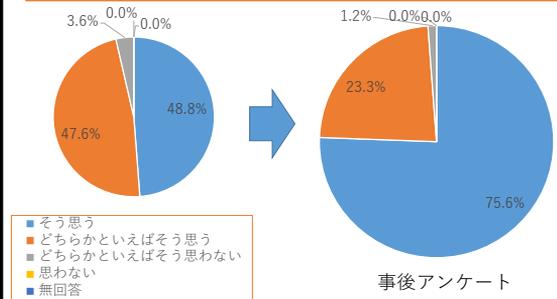
がん教育研究授業



東海大学体育学部教授
森良一様

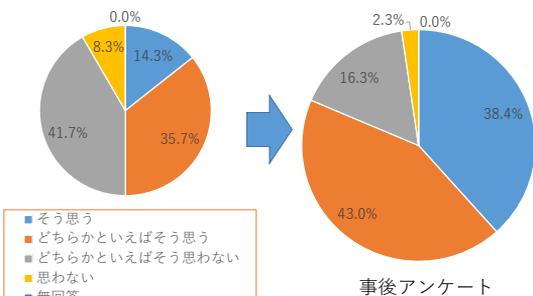
生徒アンケートの変容（中学校）

3c 日頃から、バランスの良い食事や適度に運動を行うなど健康な体づくりに取り組もうと思う。



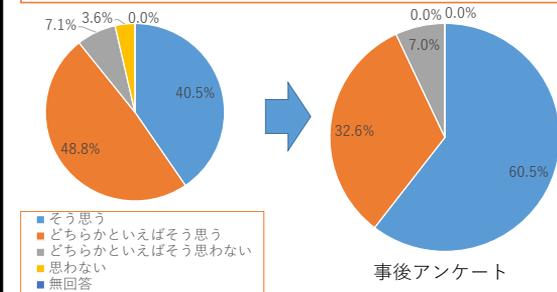
生徒アンケートの変容（中学校）

3 f がんになっても生活の質を高めることができる



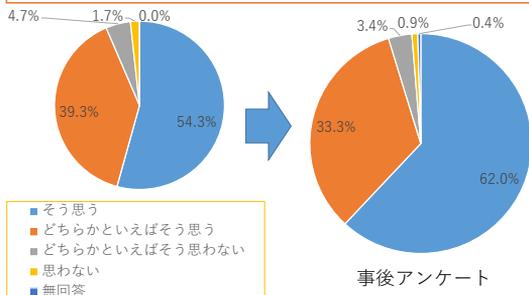
生徒アンケートの変容（中学校）

3 h がんと健康について、まずは身近な家族から語ろうと思う



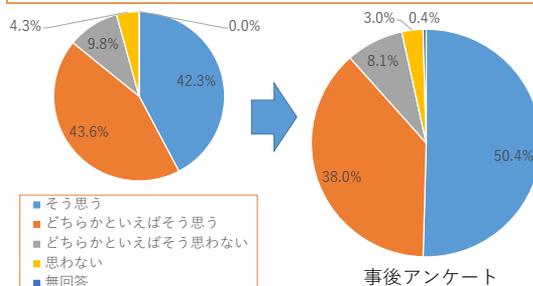
生徒アンケートの変容（高等学校）

3c 日頃から、バランスの良い食事や適度に運動を行うなど健康な体づくりに取り組もうと思う。



生徒アンケートの変容（高等学校）

3h がんと健康について、まずは身近な家族から語ろうと思う



研究テーマ 中学校と高等学校の連携をもとに行うがん教育の推進

成果と課題

成果

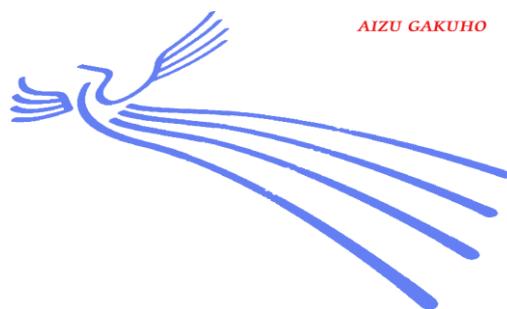
- がん教育の授業や講演会の有効性について、実践を通して改めて検証することができた。
→ 外部講師との連絡、効果的な連携
…担当者（コーディネーター）の役割が重要
- ICT活用など、効果的な指導について研修することができた。コロナ禍においては、オンラインの遠隔授業も効果的。
- 学校の全体計画、カリキュラムとの関連を考えた実践ができた。中高の連携も効果的。

成果と課題

課題

- 家族にがん患者がいる生徒、近親者をがんで亡くした生徒の把握と、授業での配慮。
→ 保護者会などでの周知、個別対応も。
- 学習効果を高める教材の工夫、発問の工夫。
- がん教育に関する情報発信の工夫。
→ 保健日より、学年通信、ホームページ
- コロナ禍の状況を踏まえ、医療関係の外部講師とは速やかに連絡する必要。

* 県内各地で、実践が積み上がるように。



ご静聴ありがとうございました